

表1. 発生頻度全国調査対象施設と回答率

	1998年		1999年		2000年		2001年	
	施設数	回答率	施設数	回答率	施設数	回答率	施設数	回答率
認定研修施設	2,270	53.7%	2,264	55.6%	2,312	46.0%	2,291	51.5%
臨床整形外科施設	1,529	40.5%	1,430	54.4%	1,512	48.5%	1,493	55.4%
計	3,799	48.4%	3,694	55.1%	3,824	47.0%	3,784	53.0%

表2 定点観測対象病院の都道府県別分布

都道府県	観測病院	都道府県	観測病院	都道府県	観測病院	都道府県	観測病院
北海道	6	千葉	3	奈良	2	香川	2
青森	2	東京都	14	滋賀	2	愛媛	2
秋田	2	神奈川	10	京都	5	高知	2
山形	2	山梨	4	兵庫	7	福岡	8
岩手	2	静岡	7	大阪	7	佐賀	2
宮城	2	長野	1	和歌山	2	長崎	2
福島	2	富山	3	岡山	1	熊本	2
新潟	2	石川	3	広島	3	大分	2
群馬	2	福井	2	鳥取	2	宮崎	2
栃木	4	愛知	3	島根	1	鹿児島	2
茨城	6	岐阜	4	山口	3	沖縄	2
埼玉	5	三重	2	徳島	2	合計	158

表3 発生頻度と治療状況の全国調査 登録患者数

調査年	総数 ¹⁾	男性 ²⁾	女性 ²⁾	内側骨折 ³⁾	外側骨折 ³⁾
1998	36,226	7,761	28,275	15,767	20,111
1999	40,069	8,556	31,253	17,208	22,362
2000	34,452	7,351	26,889	14,878	19,159
2001	44,469	9,193	35,097	19,027	24,926
合計	155,216	32,861	121,514	66,880	86,558

1) 35歳以上の全骨折症例 2) 性別不明例を除く 3) 骨折型不明例を除く

表4 調査年ごとの平均年齢

	1998年	1999年	2000年	2001年
内側骨折	76.5	76.9	77.2	77.3
外側骨折	80.5	80.7	81.0	81.1
全体	78.7	79.2	79.4	79.6

(35歳以上)

表5 受傷側別患者数

	1998年	1999年	2000年	2001年	計
右	17,552	19,375	16,786	21,650	75,363
左	18,379	20,253	17,458	22,565	78,655
両側	153 (0.43%)	378 (0.95%)	364 (1.06%)	473 (1.07%)	1,368 (0.89%)
不明	295	441	208	323	1,267

表6 年齢階級別患者数

年齢	全骨折型		内側骨折		外側骨折		男女比	外側/内側
	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
35-39	303	202	103	131	192	70	0.7	1.12
40-44	448	255	163	166	276	88	0.6	1.11
45-49	704	640	313	451	379	177	0.9	0.73
50-54	1,120	1,333	507	1,002	598	316	1.2	0.61
55-59	1,414	1,985	630	1,437	762	526	1.4	0.62
60-64	2,090	3,524	906	2,373	1,156	1,107	1.7	0.69
65-69	3,256	6,878	1,439	4,398	1,780	2,409	2.1	0.72
70-74	4,383	12,268	1,828	6,911	2,509	5,233	2.8	0.89
75-79	5,018	20,813	2,015	10,177	2,938	10,441	4.1	1.10
80-84	5,848	27,551	2,227	11,352	3,546	15,889	4.7	1.43
85-89	4,923	27,763	1,657	9,695	3,211	17,785	5.6	1.85
90-94	2,178	13,813	674	4,233	1,482	9,419	6.3	2.22
95-99	458	3,161	135	837	314	2,288	6.9	2.68
100-	45	347	10	97	35	248	7.7	2.64
年齢不明	673	981	145	561	204	740		
合計	33,157	120,910	12,926	53,470	19,799	66,156		

(性別不明例を除く)

表7 受傷場所の比較

	90歳未満			90歳以上		合計	
	男性	女性		男性	女性		
屋内	15,062	70,099	(70.9%)	1,997	14,328	(85.2%)	101,486
屋外	13,439	21,430	(29.1%)	577	2,263	(14.8%)	37,709

(年齢および性別不明例を除く)

表8 受傷原因

	90歳未満		90歳以上		合計		
	男性	女性	男性	女性			
寝ていて・体を捻って	420	2,039	2.0%	51	449	2.6%	2,959
立った高さからの転倒	17,616	74,701	73.4%	2,031	13,562	82.3%	107,910
階段・段差の踏み外し	2,107	7,924	8.0%	145	802	5.0%	10,978
転落・交通事故	6,650	6,886	10.8%	200	454	3.5%	14,190
記憶無し	291	1,566	1.5%	21	241	1.4%	2,119
不明	963	4,637	4.5%	108	886	5.2%	6,594
おむつ骨折（重複あり）	31	189	0.23%	4	48	0.35%	

表9 治療法の内訳

	内側骨折		外側骨折	
	人数	割合	人数	割合
保存	4,438	6.8%	5,128	6.0%
観血	61,228	93.2%	80,393	94.0%
人工骨頭置換術	44,766	73.1%	1,446	1.8%
骨接合術	16,067	26.2%	78,416	97.5%
手術法不明	395	0.6%	531	0.7%

(骨折型不明例を除く)

表 1 0 調査年ごとの入院日数

	1998年*	1999年	2000年	2001年
全 例	54.8 (1-353)	58.5 (1-363)	55.9 (1-360)	53.4 (1-364)
外側骨折	54.8	58.4	56.0	53.5
内側骨折	56.0	58.6	55.8	53.2
人工骨頭置換例	55.9	58.3	56.7	54.6
骨接合例	61.2	63.6	58.3	53.7
90歳未満例	56.0	59.1	56.2	54.0
90歳以上例	49.4	54.1	53.0	49.9

値は平均日数（日）

*1998年は調査を上半期・下半期に分けて行ったため、他の調査年と直接比較が出来ない。

表 1 1 定点観測結果回答率

	発送施設数	回答施設数	回答率(%)
定点観測指定病院	158	78	49.4

表 1 2 定点観測症例内訳

	例数	%	年齢	範囲
確定症例数	4,183	100	78.7±12.6	0~99
男性	870	20.8	73.2±15.6	0~100
女性	3,148	75.3	80.3±10.4	6~99
不明	165	3.9	79.5±13.2	9~99

表 1 3 定点観測登録症例の年齢階級・性別および骨折型別患者数

年齢 (歳)	全骨折数型		内側骨折型		外側骨折型	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
35-39	7	7	4	6	3	1
40-44	12	9	6	6	6	3
45-49	20	11	12	8	8	3
50-54	33	27	8	25	25	2
55-59	29	38	13	26	16	12
60-64	42	91	25	65	17	26
65-69	100	160	43	97	57	63
70-74	112	282	53	160	59	122
75-79	106	499	47	264	59	235
80-84	134	631	55	266	79	365
86-89	99	647	34	214	65	433
90-94	51	326	18	116	33	210
95-99	29	124	11	36	18	88
100-	1	0	0	0	1	0

表 1 4 骨折時暮らし

理由	人数	%
一人暮らし	569	15.4
同居人 (家族)	897	24.3
その他 (施設入所)	2,230	60.3
回答合計	3,696	100
空白 (記載なし)	487	

表 1 5 各日数

	受傷から入院の日数	入院から手術の日数	手術から退院までの日数
日数	6.3±31.1	10.5±30.7	58.5±55.2
症例数 (人)	4,073	3,916	4,016

表16 受傷場所

	人数	%
自宅	1,916	46.8
一般病院	338	8.3
老人保健施設	280	6.8
特別養護老人ホーム	272	6.6
療養型病床群	179	4.4
施設	96	2.3
老人ホームなど	81	2.0
その他	838	20.5
不明	94	2.3
回答合計	4,094	100.0
記載空白	89	(2.1)

表17 退院先(状況)

	人数	%
自宅	1,948	49.3
療養型病床群	690	17.5
特別養護老人ホーム	366	9.3
老人保健施設	306	7.8
施設	122	3.1
一般病院	72	1.8
老人ホームなど	72	1.8
その他	128	3.2
不明	245	6.2
回答合計	3,949	100.0
空白	234	(5.6)

表18 非手術死亡例

	人数	平均年齢	骨折時の暮らし状況				内側骨折		外側骨折	
			独居	家庭	施設	不明	人数	合併症数	人数	合併症数
男性	12	82.6	3	2	5	2	3	3.3	9	2.7
女性	20	86.4	2	6	11	1	9	3.6	11	4.2
性不明	1	87.0	—	—	—	1	(1)	2	(1)	

表19 治療法

	内側骨折 (人数)	1,809名 (%)	外側骨折	2,285名 (%)
非手術	103	6.6	114	5.7
手術的治療	1,467	93.4	1,886	94.3
エンダー釘	1	0.1	60	3.2
スクリュー	304	20.7	18	1.0
ガンマネール	4	0.3	397	21.0
CHS	62	4.2	1,215	64.4
プレート	0	0	0	0
人工骨頭置換	1,028	70.1	23	1.2
人工股関節置換	13	0.9	0	0
その他	42	2.9	158	8.4
手術法不明	13	0.9	15	0.8
治療法不明	239		285	

表20 骨折前のADL自立度

	人数	%
1. 交通機関等を利用して外出する.	1,245	30.2
2. 隣近所へなら外出する.	1,072	26.0
3. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する.	720	17.5
4. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている.	607	14.7
5. 車いすに移乗し、食事排泄はベッドから離れて行う.	223	5.4
6. 介助により車いすに移乗する.	165	4.0
7. 自力で寝返りをうつ.	24	0.6
8. 自力で寝返りもうたない.	23	0.6
9. 不明	36	0.9
その他	4	0.1
回答合計	4,119	100.0
空白	64	(1.5)

表21 1年後のADL自立度

	人数	%
1. 交通機関等を利用して外出する.	798	22.5
2. 隣近所へなら外出する.	580	16.4
3. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する.	530	15.0
4. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている.	407	11.5
5. 車いすに移乗し、食事排泄はベッドから離れて行う.	354	10.0
6. 介助により車いすに移乗する.	367	10.4
7. 自力で寝返りをうつ.	64	1.8
8. 自力で寝返りもうたない.	71	2.0
9. 不明	363	10.2
その他	11	0.3
回答合計	3,545	100.0
空白	638	(15.3)

表 2 2 前期・後期高齢者の術前・後における ADL 比較

術前後の ADL 変化	前期高齢者 (65~75 歳)		後期高齢者 (75~100 歳)	
	人	%	人	%
「1」を維持	246	39.6	955	30.0
「1」より低下	81	13.0	356	11.0
「1」不明	16	2.6	59	1.9
「2」から改善	4	0.6	27	0.8
「2」を維持	64	10.3	416	13.1
「2」より低下	52	8.4	452	14.2
「2」不明	8	1.3	98	3.1
「3」から改善	0	0.0	2	0.1
「3」を維持	31	5.0	250	7.9
「3」より低下	23	3.7	275	8.7
「3」不明	12	1.9	88	2.8
「4」から改善	4	0.6	17	0.5
「4」を維持	22	3.5	163	5.1
「4」より低下	19	3.0	228	7.1
「4」不明	3	0.5	58	1.8
「5」から改善	0	0.0	4	0.1
「5」を維持	15	2.4	85	2.7
「5」より低下	8	1.3	64	2.0
「5」不明	1	0.2	22	0.7
「6」から改善	0	0.0	5	0.1
「6」を維持	8	1.3	78	2.5
「6」より低下	1	0.2	6	0.2
「6」不明	0	0.0	15	0.5
「7」から改善	0	0.0	3	0.1
「7」を維持	0	0.0	3	0.1
「7」より低下	0	0.0	1	0.0
「7」不明	0	0.0	4	0.1
「8」から改善	0	0.0	1	0.0
「8」を維持	0	0.0	6	0.2
「8」不明	0	0.0	2	0.1
「9」から改善	1	0.2	3	0.1
「9」不明	2	0.3	5	0.2
	621	100.0	3,179	100.0

注：「自立度」は前述した分類を参考のこと。

表23 術前の合併症（分析可能回答合計4,115件、除外空白68件）

合併症	人数	%	合併症	人数	%
0. なし	451	11.0	9. アレルギー性疾患	1	0.02
1. 高血圧	182	4.4	10. 神経疾患	144	3.5
2. 心疾患	92	2.2	11. 老人性痴呆	144	3.5
3. 呼吸器疾患	60	1.5	12. 視力障害	45	1.1
4. 肝疾患	19	0.5	13. OA	36	0.9
5. 腎疾患	28	0.7	14. RA	29	0.7
6. 消化器疾患	107	2.6	15. 骨粗鬆症	79	1.9
7. 内分泌疾患	54	1.3	16. その他	2,636	64.1
8. 血液疾患	8	0.2	回答合計	4,115	100.0
			空白	68	(1.6)

表24 骨折既往歴

骨折名	人数	%	骨折名	人数	%
0. なし	2,870	73.9	4. 大腿骨頸部骨折	264	6.8
1. 前腕骨折	59	1.5	5. その他	346	8.9
2. 脊椎圧迫骨折	295	7.6	回答合計	3,883	100.0
3. 上腕骨頸部骨折	49	1.3	空白	300	(7.2)

表25 手術項目別1年後死亡率

手術項目	生存数	死亡数	全数	死亡率 (%)
1. エンダー釘	54	6	60	10.0
2. スクリュー	309	26	335	7.8
3. ガンマネール	350	73	423	17.3
4. CHS	1,008	138	1,146	12.0
5. プレート	—	—	—	—
6. その他	202	21	223	9.4
7. 人工骨頭	1,115	85	1,200	7.1
8. 人工関節	13	1	14	7.1
合計	3,051	350	3,401	平均10.3

表 2 6 受傷時年齢毎の術後 1 年生存率

年齢	生存	死亡	生存率 (%)
0	1	0	100.0
6	1	0	100.0
7	1	0	100.0
13	1	0	100.0
14	1	0	100.0
16	4	0	100.0
17	3	0	100.0
18	1	0	100.0
19	3	0	100.0
20	3	0	100.0
23	1	0	100.0
24	3	0	100.0
26	2	0	100.0
27	2	0	100.0
28	2	0	100.0
29	1	0	100.0
30	2	0	100.0
32	4	0	100.0
33	1	0	100.0
34	3	0	100.0
35	4	0	100.0
36	1	0	100.0
37	2	0	100.0
38	1	0	100.0
39	5	1	83.3
40	5	1	83.3
41	5	0	100.0
43	5	0	100.0

年齢	生存	死亡	生存率 (%)
44	3	0	100.0
45	2	0	100.0
46	5	0	100.0
47	4	0	100.0
48	6	0	100.0
49	13	0	100.0
50	15	0	100.0
51	9	2	81.8
52	8	0	100.0
53	9	0	100.0
54	11	0	100.0
55	12	0	100.0
56	13	0	100.0
57	15	0	100.0
58	14	0	100.0
59	18	1	94.7
60	13	1	92.9
61	27	2	93.1
62	17	2	89.5
63	24	3	88.9
64	35	1	97.2
65	34	0	100.0
66	46	3	93.9
67	47	1	97.9
68	45	0	100.0
69	69	4	94.5
70	58	2	96.7
71	47	2	95.9

年齢	生存	死亡	生存率 (%)
72	79	4	95.2
73	53	13	80.3
74	64	8	88.9
75	81	2	97.6
76	99	11	90.0
77	108	7	93.9
78	105	10	91.3
79	127	8	94.1
80	96	15	86.5
81	119	21	85.0
82	128	20	86.5
83	116	20	85.3
84	136	24	85.0
85	121	19	86.4
86	117	31	79.1
87	105	23	82.0
88	125	15	89.3
89	93	21	81.6
90	84	15	84.8
91	64	16	80.0
92	45	18	71.4
93	35	10	77.8
94	28	8	77.8
95	9	10	47.4
96	10	5	66.7
97	11	2	84.6
98	10	2	83.3
99	28	4	87.5

平成 13 年 大 腿 骨 頸 部 骨 折 に 関 す る 調 査

参 考 資 料 1

御協力のお願い：平成13年1月1日～平成13年12月31日に受傷し貴院を受診した大腿骨頸部(近位部)骨折患者について、記入例をご参照の上
ご記入下さい。なお罹患率の正確な推計を期するため、患者の有無にかかわらず、ご返送下さるようお願い致します。

大腿骨頸部骨折新患： なし あり () 名 内訳 (男 名/女 名)

No	イニシャル		性別	生年月日	骨折日		初診日		左右	骨折型	受傷の場所	受傷原因	治療法	入院期間
	Y (姓)	K (名)			月	日	月	日						
例			♂♀	M.T.S 14年1月1日	2月1日	2月1日	2月1日	2月1日	右左	内側 外側	屋内 屋外	1 2 3 4 5 6 才	保・観(置換・接合)	2月1日～4月1日
1			♂♀	M.T.S 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	右左	内側 外側	屋内 屋外	1 2 3 4 5 6 才	保・観(置換・接合)	月 日～ 月 日
2			♂♀	M.T.S 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	右左	内側 外側	屋内 屋外	1 2 3 4 5 6 才	保・観(置換・接合)	月 日～ 月 日
3			♂♀	M.T.S 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	右左	内側 外側	屋内 屋外	1 2 3 4 5 6 才	保・観(置換・接合)	月 日～ 月 日
4			♂♀	M.T.S 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	右左	内側 外側	屋内 屋外	1 2 3 4 5 6 才	保・観(置換・接合)	月 日～ 月 日
5			♂♀	M.T.S 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	右左	内側 外側	屋内 屋外	1 2 3 4 5 6 才	保・観(置換・接合)	月 日～ 月 日
6			♂♀	M.T.S 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	右左	内側 外側	屋内 屋外	1 2 3 4 5 6 才	保・観(置換・接合)	月 日～ 月 日
7			♂♀	M.T.S 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	右左	内側 外側	屋内 屋外	1 2 3 4 5 6 才	保・観(置換・接合)	月 日～ 月 日
8			♂♀	M.T.S 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	右左	内側 外側	屋内 屋外	1 2 3 4 5 6 才	保・観(置換・接合)	月 日～ 月 日
9			♂♀	M.T.S 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	右左	内側 外側	屋内 屋外	1 2 3 4 5 6 才	保・観(置換・接合)	月 日～ 月 日
10			♂♀	M.T.S 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	右左	内側 外側	屋内 屋外	1 2 3 4 5 6 才	保・観(置換・接合)	月 日～ 月 日
11			♂♀	M.T.S 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	右左	内側 外側	屋内 屋外	1 2 3 4 5 6 才	保・観(置換・接合)	月 日～ 月 日
12			♂♀	M.T.S 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	右左	内側 外側	屋内 屋外	1 2 3 4 5 6 才	保・観(置換・接合)	月 日～ 月 日
13			♂♀	M.T.S 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	右左	内側 外側	屋内 屋外	1 2 3 4 5 6 才	保・観(置換・接合)	月 日～ 月 日
14			♂♀	M.T.S 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	右左	内側 外側	屋内 屋外	1 2 3 4 5 6 才	保・観(置換・接合)	月 日～ 月 日
15			♂♀	M.T.S 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	右左	内側 外側	屋内 屋外	1 2 3 4 5 6 才	保・観(置換・接合)	月 日～ 月 日
16			♂♀	M.T.S 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	右左	内側 外側	屋内 屋外	1 2 3 4 5 6 才	保・観(置換・接合)	月 日～ 月 日
17			♂♀	M.T.S 年 月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	右左	内側 外側	屋内 屋外	1 2 3 4 5 6 才	保・観(置換・接合)	月 日～ 月 日

骨折型 内側：Cervical fracture 外側：Trochanteric fracture
 受傷原因 1.寝ていて・体を捻って(才、おむつ骨折) 2.立った高さからの転倒 3.階段・段差の踏み外し 4.転落・交通事故 5.記憶無し
 6.不明 治療法 置換：人工骨頭置換術、接合：骨接合術 入院期間 退院日は現在入院中の症例は記載不要です

連絡先 〒683-8504 米子市西町36-1
 鳥取大学整形外科内
 日整会骨粗鬆症委員会事務局
 Tel:0859-34-8115
 Fax:0859-34-8093

貴病院名： _____

参考資料2

日整会骨粗鬆症委員会選定定点観測病院一覧

No.	医療機関名	No.	医療機関名
1	市立釧路総合病院	43	山梨県立中央病院
2	函館中央病院	44	越谷市立病院
3	滝川市民病院	45	栃木県南総合病院
4	釧路赤十字病院	46	下館市民病院
5	市立稚内病院	47	川崎市立川崎病院
6	北見赤十字病院	48	済生会宇都宮病院
7	弘前記念病院	49	神奈川県立厚木病院
8	青森市民病院	50	富士市立中央病院
9	中通総合病院	51	東京医大霞ヶ浦病院
10	山本組合総合病院	52	多摩丘陵病院
11	済生会山形済生病院	53	東京女子医科大学
12	市立酒田病院	54	東大和病院
13	岩手医科大学附属病院	55	松井病院
14	岩手県立大船渡病院	56	東京都立荏原病院
15	仙台市立病院	57	大森赤十字病院
16	石巻赤十字病院	58	大和市立病院
17	白河厚生総合病院	59	久我山病院
18	星総合病院	60	藤沢市民病院
19	新発田病院	61	横須賀北部共済病院
20	中条中央病院	62	湘南病院
21	群馬県立心臓血管センター	63	裾野赤十字病院
22	碓氷病院	64	国際親善総合病院
23	上三川病院	65	横浜総合病院
24	宇都宮社会保険病院	66	東海大学病院
25	獨協医科大学病院	67	東海大学附属大磯病院
26	猿島赤十字病院	68	韮崎市立病院
27	筑波学園病院	69	市川大門町立病院
28	県西総合病院	70	諏訪赤十字病院
29	大宮赤十字病院	71	豊科赤十字病院
30	獨協医科大学附属越谷病院	71	富山赤十字病院
31	埼玉社会保険病院	73	富山労災病院
32	公務員共済組合立川病院	74	国立金沢病院
33	君津中央病院	75	石川県立中央病院
34	成田赤十字病院	76	金沢医科大学病院
35	公立阿伎留病院	77	北陸中央病院
36	社会福祉法人慈生会病院	78	公立丹南病院
37	上尾中央総合病院	79	つるが泉ヶ丘病院
38	大野中央病院	80	磐田市立総合病院
39	東京都老人医療センター	81	藤枝市立総合病院
40	東京都多摩老人医療センター	82	半田市立半田病院
41	中野総合病院	83	袋井市立袋井市民病院
42	河北総合病院	84	公立陶生病院
85	辞退	128	大田市立病院
86	藤田保健衛生大学	129	周東総合病院
87	土岐市立総合病院	130	都志見病院
88	旭労災病院	131	国立療養所高松病院
89	多治見市民病院	132	内海病院
90	岐阜県立下呂温泉病院	133	徳島県立中央病院
91	高山赤十字病院	134	健康保険鳴門病院

92	山田赤十字病院	135	宇和島社会保険病院
93	国立三重中央病院	136	伊予病院
94	済生会御所病院	137	土佐市民病院
95	辞退	138	中村市民病院
96	長浜市立長浜病院	139	九州労災病院
97	聖隷三方原病院	140	福岡整形外科病院
98	京都第一赤十字病院	141	白十字病院
99	京都第二赤十字病院	142	福岡徳洲会病院
100	協立病院	143	門司労災病院
101	阪和第二泉北病院	144	済生会福岡総合病院
102	馬場記念病院	145	聖マリア病院
103	清恵会病院	146	西尾整形外科病院
104	武田総合病院	147	佐賀県立病院好生館
105	洛西シミズ病院	148	医療法人整肢会 副島整形外科病院
106	関西医科大学附属病院	149	長崎県立島原温泉病院
107	関西医科大学附属香里病院	150	聖フランシスコ病院
108	大和高田市民病院	151	熊本機能病院
109	P L 病院	152	公立玉名中央病院
110	ベルランド総合病院	153	中村病院
111	草津総合病院	154	健康保険南海病院
112	蘇生会総合病院	155	宮崎市郡医師会病院
113	和歌山県立医科大学附属病院	156	宮崎社会保険病院
114	紀南総合病院	157	県立大島病院
115	県立淡路病院	158	出水郡医師会立阿久根市民病院
116	県立柏原病院	159	中部徳洲会病院
117	宝塚市立病院	160	那覇市立病院
118	小野市民病院		
119	神野病院		
120	光輝病院		
121	倉敷中央病院		
122	難波病院		
123	中国労災病院		
124	厚生連広島総合病院		
125	清水病院		
126	済生会境港病院		
127	石川島播磨重工業健康保険組合播磨病院		

大腿骨頸部骨折ケースカード

病院コード	□□□□	生年月日	(M.Y.S.I) □□年□□月□□日
患者名(姓名の仁み)	□□	性別	1.男 2.女 骨折時の身長 cm 体重 kg
受傷原因	1.寝ていて体を捻った 2.立った高さからの転倒 3.階段・段差の踏み外し 4.転落 5.交通事故 6.記憶無し 7.オムツ骨折 8. Spontaneous fracture 9.不明 (1.のうち寝たきり介護でオムツ当てや清拭時の骨折は7.にも印を付ける。)		
骨折時1人暮らしだったか	1.一人暮らし 2.同居(上たる介護人)		
受傷年月日	平成□□年□□月□□日		
入院年月日	平成□□年□□月□□日	手術年月日	平成□□年□□月□□日
退院年月日	平成□□年□□月□□日 (死亡退院は死亡日)		
受傷場所	1.自宅 2.施設(1.特別養護老人ホーム 2.老人保健施設 3.療養型病床群等 4.一般病院) 3.老人ホームなど 4.その他 5.不明		
転倒	1.屋内 2.屋外 3.不明		
退院後状況	1.自宅 2.施設(1.特別養護老人ホーム 2.老人保健施設 3.療養型病床群等 4.一般病院) 3.老人ホームなど 4.その他 5.不明		
退院転帰	1.軽快 2.不寛 3.死亡		
骨折側	1.左 2.右	骨折型	1.内側 2.外側
		転位	1.有 2.無
治療方法	(1.手術 2.非手術)		
手術	(使用機種 1.エンダー釘 2.スクリュー 3.ガンナトル 4.CHS 5.プレート 6.その他()) 7.人工骨頭 8.人工股関節		
骨折前のADL自立度	1.交通機関等を利用して外出する 2.隣近所へなら外出する 3.介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する		
1年後の事後調査 (1.生存 2.死亡)	4.外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている 5.車いすに移乗し、食事摂取はベッドから離れて行う		
1年後のADL自立度	6.介助により車いすに移乗する 7.自力で寝返りをうつ 8.自力では寝返りもうたない 9.不明		
病前の合併症 (複数回答可)	0.無し 1.高血圧 2.心疾患 3.呼吸器疾患 4.肝疾患 5.腎疾患 6.消化器疾患 7.内分泌疾患 8.血液疾患 9.アレルギー性疾患 10.神経疾患 11.老人性痴呆 12.視力障害 13. OA 14. KA 15.骨粗鬆症 16.その他		
骨折既往歴	0.無し 1.腕骨折 2.脊椎圧迫骨折 3.上肢骨頸部骨折 4.大腿骨頸部骨折 5.その他()		

日本整形外科学会・骨粗鬆症委員会 事務局 〒03-3784-8543
 〒142-8606 品川区旗の台1-5-8 昭和大学医学部整形外科 代表 阪本桂造